
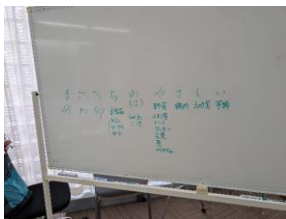



就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所	事業所番号	1413301522
住所	緑区十日市場町819-3第5高ビル3階	管理者名	麻生 政志
電話番号	045-508-9693	対象年度	2025年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：横浜SSJ北部事業所事務所</p> <p>実施日程： 2025/7/22、2025/10/29、2026/1/28</p> <p>実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要</p> <p>管理栄養士による栄養バランスや精神栄養学についての講義、栄養バランスを補うためのレシピの実践、食事記録を基にした個別指導</p> <p>利用者数： のべ14名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>熱中症対策として、身体を冷やしてくれる効果が期待できる夏野菜を使ったピクルスを実際に調理した。</p>  <p>「まごたちはやさしい」の合言葉を基に、1日のなかでどのように栄養バランスを考えていったらよいかを学ん</p>  <p>参加者の食事記録を基に、メニューの組み合わせや代替できる食事など、互いへの提案も交えながら考えた</p>
<p><目的></p> <p>「長く働き続けるための身体づくり」について、栄養バランスをはじめ、食に関する専門的な知識を学び、実生活に活かしていくことを目的としている。</p>	
<p><成果></p> <p>複数回開催し、継続して参加する人も増え、プログラムの内容や管理栄養士からのアドバイスを生活に取り入れている様子がうかがえた。また、プログラムを通し、生活の様子を知ること、就労場面での課題のアセスメントにもつなげることが出来た。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>・連携した結果に対する意見または評価</p> <p>7/22.10/29.1/28と3回の開催で、7月は熱中症対策と精神疾患と栄養に関する講義・簡単レシピのデモ・試食を行った。10月は簡単親子丼とそれを中心とした献立を考え調理し、その後栄養バランスの考え方についての講義を行った。1月は参加者の1日の食事記録から、栄養バランスについてのアドバイスや参加者間での意見交流を行った。参加者の熱心さを感じ、講義内容を実践、改善される様子が何れ意識の高さを感じた。特に1月では、食事記録をもとに写真を張り出し、参加型で互いの食事を考える良い機会となった。</p> <p>・今後の連携強化に向けた課題</p> <p>今後も参加者様が何を知りたいかを担当者様と話し合い、テーマを持った講座で、より多くの方にご参加頂けるよう努める。仕事を継続していく上で、「食」の大切さを分かりやすく伝えていける参加型の講座を心掛ける。</p>	管理栄養士・赤堀智子
連携先企業（担当者）	

利用者からの意見・評価

<ul style="list-style-type: none">・色々食事を見直せてよかったです。・1日4食ではなく、1日3食で調整すれば良いことが勉強になった。・普段食べられない野菜をしっかりと食べられて、生活を見直すきっかけになりました。・野菜がおいしく食べれてよかった。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	横浜SSJ北部事業所	事業所番号	1413301522
住所	緑区十日市場町819-3第5高久ビル3階	管理者名	麻生 政志
電話番号	045-508-9693	対象年度	2025年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所： 横浜市北部斎場 実施日程： 年間317日 8:45~16:30 実施した生産活動・施設外就労の概要 斎場内の会葬者休憩室清掃や湯茶提供における食器類の洗浄、準備。その他、ロビーやホール、駐車場などの斎場敷地内の清掃を中心とした活動</p> <p>利用者数： 32名</p>	<p><活動の様子></p> <p>2025年度は通年して40件前後以上の火葬件数があり、例年件数が増えている。そのため、以前より通年して休憩室の使用も増えており、慌ただしさが増している。また新たに入職した方が5名、一般就労やステップアップのために退職した方が2名と活動する利用者の出入りが多かったこともあり、慣れていないという側面があり、慌ただしさが増長されたところがあった。</p>
<p><目的></p> <p>障がい者の働く場として、地域の施設で活動し、一般就労への移行や賃金の引き上げを図る。また、地域施設での活動を通して、障がい者が普通に働けるということに対する普及啓発及び地域の方と障がい者の相互理解をに繋げる。</p>	
<p><成果></p> <p>2025年度は働く人が述べ3679名と前年より約300人程増加した。1日あたり1名程度増えたことになる。ただ、火葬件数の増加の方が上回っていること、1人あたりの平均労働時間が0.2程度減少していることもあり、多忙さは変わらずであった。より多くの方に働く場の提供できたことは良かった。1人あたりの就労時間数を伸ばすことは課題だが、多くの障がい者の働く場になっていることは役割を果たせていると考えている。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

<p>地域住民の生活基盤施設である市営斎場において、利用者への湯茶等の提供、場内売店の運営、場内清掃等を行っていただいております。</p> <p>頻繁に入れ替わる利用者のスケジュールに合わせ、時には分単位での時間調整を行いながら円滑に作業を進めていただき、利用者の皆様に快適にお過ごしいただける環境を常に整えていただいております。</p> <p>地域住民の施設利用に対する安心感の醸成、地域住民と障害者との相互理解、市営斎場の地域住民に対するイメージ向上に大きく貢献していただいております。</p> <p>次年度はさらなる利用者の増加が見込まれるため、引き続き良好なサービスを維持していけるかが課題となります。</p>			
連携先企業名	横浜市北部斎場	担当者名	担当係長 杉村 高次

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	横浜SSJ北部事業所
住所	横浜市緑区十日市場町819-3第5高久ビル3階
電話番号	045-508-9693

事業所番号	1413301522
管理者名	麻生 政志
対象年度	2025年度

(I) 労働時間		80 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		5 点

(IV) 支援力向上（※）		5 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		3 点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点



合計	180	点 / 200点
----	-----	----------

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I～IV、VI）

(I) 労働時間

前年度（2025年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	21,194	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,528	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.0	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（2023年度）

生産活動収入から経費を除いた額	36,037,150	円	利用者に支払った賃金総額	34,925,093	円	収支	1,112,057	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（2024年度）

生産活動収入から経費を除いた額	36,627,794	円	利用者に支払った賃金総額	28,740,799	円	収支	7,886,995	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（2025年度）

生産活動収入から経費を除いた額	39,650,517	円	利用者に支払った賃金総額	33,589,466	円	収支	6,061,051	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(III) 多様な働き方

前年度（2025年度）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

(IV) 支援力向上

前年度（2025年度）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している

※研修名 虐待防止、意思決定支援について
研修講師 鈴木敏彦氏
実施日・受講者数 11月21日 4人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れてい

※先進的事業者名 特別子会社オープンハウスオペレーションズ
実施日/参加者数 3月3日 2人
※他の事業所名 就労継続支援A型Green
実施日/参加者数 3月10日 2人
(※視察受入)

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している

※商談会等名
主催者名
日時 月 日
内容

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 年 月 日
人事評価制度の対象職員数 5名
うち昇給・昇格を行った者 3名
当該人事評価制度の周知方法
説明資料配布

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日
規格等の内容

(VI) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。